

潰瘍性大腸炎でお悩みの方・ご家族に

市民公開講座

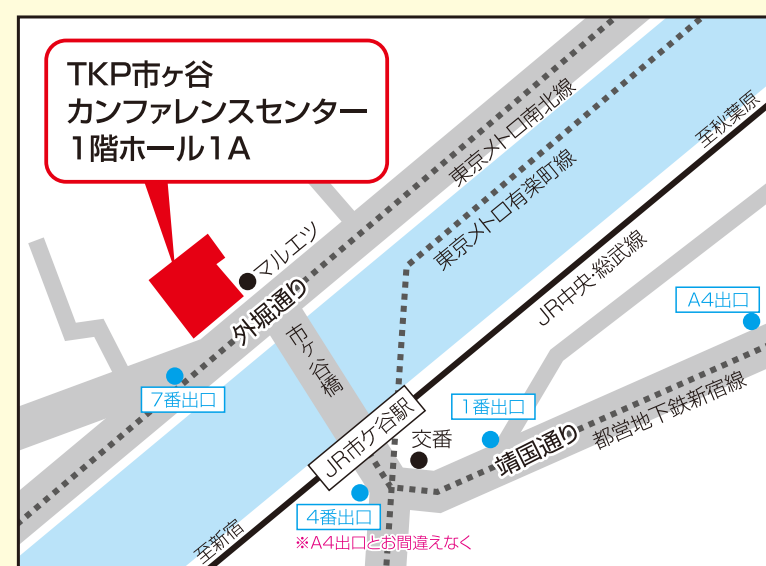
潰瘍性大腸炎における生薬の可能性

潰瘍性大腸炎の患者さんを対象に、生薬の安全性と有効性を検討する臨床研究を行っています。この生薬による治療の今を専門の先生方にご解説いただきます。

2016年7月17日(日) 13:00~15:30

会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 1階ホール1A
東京都新宿区市ヶ谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル

交通 ●JR総武線 市ヶ谷駅 徒歩2分 ●東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 7番出口 徒歩1分
●東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅 7番出口 徒歩1分 ●都営新宿線 市ヶ谷駅 4番出口 徒歩2分



どなたでも参加できます

無料
講演

ご参加いただいたみなさまの質問に
講演した先生方がお答えします

4 市民公開講座

パネルディスカッション



あまの くにき
天野 國幹 先生

プロフィール

1974年横浜市立大学医学部卒業。
広島大学医学部第2外科、1975年
あかね会土谷病院、1983年北九州
総合病院、米国クリーブランドクリ
ニク勤務を経て、1990年広島
クリニック設立。
2008年にSky Clinic設立。



生薬を用いた
潰瘍性大腸炎治療の
現状と未来

3 特別講演

広島スカイクリニック 院長 天野 國幹 先生

潰瘍性大腸炎治療に
「生薬」を用いた
臨床試験について

2 臨床現場からの報告

慶應義塾大学病院消化器内科専任講師 長沼 誠 先生

「漢方」と混同されることも多い
「生薬」
実は全くの別物?!
知っているようで知らない
「生薬」について 専門家が徹底解説!

1 生薬って何?

日本漢方生薬ソムリエ協会理事 笠原 良一 先生



総合司会

金井 隆典 先生

慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)教授

潰瘍性大腸炎ってどんな病気?

- 原因は不明だが何らかの免疫の異常が関与
- 現在日本で約20万人の患者さんが罹患していると推定
- 発症のピークは20-30代
- 粘血便、下痢、腹痛、発熱などの症状
- 内科治療によりコントロールされる例が多いが、再燃(症状が悪化すること)と寛解(症状がない状態)を繰り返すことが多い
- 難治例では最終的に手術を要する



市民公開講座

無料

講演会「潰瘍性大腸炎における生薬の可能性」参加予約のお申し込み

参加予約お申し込み期間 2016年6月17日(金)まで 消印有効 (先着360名様)

お申し込みは
往復ハガキで

* 先着順 *

往信面

52 150-0011
円

東京都
渋谷区東1-2-7
古川ビル1F
株式会社メディコム内
市民公開講座係

記入しない

返信面

52
円

自分の宛先

- ① 名前(ふりがな)
- ② 〒
- ③ 住所
- ④ 電話番号
- * 同伴者(1名)がいる場合
- * ⑤ 同伴者のお名前
- * ⑥ 本人との関係

参加予約のお申し込みは往復ハガキのみで承ります。必要事項①~⑥を明記してお申込みください。先着360名様にご記入いただいたご住所に、「参加券」ハガキを送付いたしますので、当日は忘れずにお持ちください。
(ご案内の目的以外に、個人情報を使用することはありません)
※同伴者は1名まで。※先着順にて受付、定員に達したらメチ。

講演のご案内・お申込み方法ご紹介サイト

<http://www.medicomnet.jp/kouza/>

* Webサイトからも講演のご案内がご覧いただけます *

主催 株式会社メディコム内市民公開講座実行委員会